

# ユーザーガイド

© Copyright 2016 HP Development Company, L.P.

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

DTS の特許については、<http://patents.dts.com/> を参照してください。DTS Licensing Limited からのライセンスに基づき製造されています。DTS、シンボル、DTS とシンボルの組み合わせ、および DTS Studio Sound は DTS, Inc. の商標または登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved



本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2016年7月

製品番号：903663-291

## 製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどの製品に共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

一部の機能は Windows の一部エディションまたはバージョンでは使用できません。システムで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされたハードウェアや別売のハードウェア、ドライバーやソフトウェア、または BIOS の更新が必要になる場合があります。詳しくは、<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして**[製品の検索]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

## ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの代金の全額返金を要求する場合は、販売店に問い合わせてください。

## 安全に関するご注意

⚠ **警告!** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950-1) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。



---

# 目次

<b>1 「知りたい/困った」を調べるには</b> .....	<b>1</b>
<b>2 コンピューターのセットアップ</b> .....	<b>3</b>
インターネットへの接続（一部の製品のみ） .....	4
コンピューターのシャットダウン .....	5
<b>3 画面の操作</b> .....	<b>6</b>
タッチ ジェスチャの使用 .....	6
キーボードおよびマウスの使用 .....	6
<b>4 コンピューターの保護</b> .....	<b>8</b>
コンピューターのセキュリティ機能 .....	8
<b>5 トラブルシューティング</b> .....	<b>9</b>
コンピューターが起動しない .....	9
電源 .....	10
ディスプレイ（モニター） .....	10
キーボードおよびマウス（有線） .....	11
キーボードおよびマウス（無線） .....	11
スピーカーおよびサウンド .....	12
インターネット アクセス .....	13
ソフトウェアのトラブルシューティング .....	13
<b>6 システム リカバリ</b> .....	<b>16</b>
システム リカバリの方法の選択 .....	16
システム リカバリのオプション .....	16
リカバリ メディア .....	19
<b>7 メンテナンス</b> .....	<b>21</b>
スケジュールおよびタスク .....	21
埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護 .....	22
コンピューターおよびモニターのクリーニング .....	22
コンピューターの通気孔のクリーニング .....	22
キーボードおよびマウスのクリーニング .....	22

タッチスクリーンのクリーニング（一部のモデルのみ） .....	23
<b>8 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用 .....</b>	<b>24</b>
[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード .....	24
<b>9 仕様 .....</b>	<b>26</b>
動作仕様 .....	26
<b>10 静電気対策 .....</b>	<b>27</b>
<b>11 ユーザー サポート .....</b>	<b>28</b>
サポートされている支援技術 .....	28
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	28
<b>索引 .....</b>	<b>29</b>

# 1 「知りたい/困った」を調べるには

作業	説明
<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターのセットアップ</li></ul>	『セットアップ手順』または『コンピューターの準備』ポスター または <a href="#">3ページの「コンピューターのセットアップ」</a> を参照してください
<ul style="list-style-type: none"><li>インターネットへの接続</li></ul>	<a href="#">4ページのインターネットへの接続（一部の製品のみ）</a> を参照してください
<ul style="list-style-type: none"><li>工場出荷時設定への復元</li></ul>	<a href="#">16ページの「システムリカバリ」</a> を参照してください
<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターの機能の使用に関するハウツービデオの表示</li></ul>	詳しくは、 <a href="http://www.hp.com/supportvideos/">http://www.hp.com/supportvideos/</a> （英語サイト）を参照してください
<ul style="list-style-type: none"><li>Windows®オペレーティングシステムの使用方法の学習</li><li>Windows のパスワード情報の検索</li><li>ドライバー更新プログラムへのリンクの検索</li><li>よくある質問の表示</li></ul>	▲ <b>【スタート】→【ヘルプとサポート】</b> の順に選択します
<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターのハードウェアとソフトウェアに関する最も一般的な問題のトラブルシューティング</li></ul>	<a href="#">9ページの「トラブルシューティング」</a> を参照してください
<ul style="list-style-type: none"><li>お使いのモデルのコンピューター用の電子ユーザーガイドと仕様の検索</li></ul>	お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、 <a href="http://www.hp.com/jp/support/">http://www.hp.com/jp/support/</a> にアクセスして <b>【製品の検索】</b> を選択し、画面の説明に沿って操作します
<ul style="list-style-type: none"><li>部品の注文、および詳細なトラブルシューティングのヘルプ情報の検索</li><li>コンピューターのコンポーネントのアップグレードまたは交換</li><li>テレビへの接続（一部の製品のみ）</li></ul>	日本でのサポートについては、 <a href="http://www.hp.com/jp/support/">http://www.hp.com/jp/support/</a> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、 <a href="http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html">http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html</a> （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください
<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターのメンテナンス</li></ul>	[HP Support Assistant]は、自動更新、診断ツール、およびアシスタント機能によってコンピューターのパフォーマンスを維持し、問題をすばやく解決します  ▲ [HP ヘルプとサポート]にアクセスするには、 <b>【スタート】→【すべてのプログラム】→【HP ヘルプとサポート】</b> の順に選択します  または <a href="#">21ページの「メンテナンス」</a> を参照してください
<ul style="list-style-type: none"><li>規定および安全に関する注意事項の検索</li></ul>	『規定、安全、および環境に関するご注意』  このガイドを表示するには、 <b>【スタート】→【すべてのプログラム】→【HP ヘルプとサポート】→【HP Documentation】</b> （HP ドキュメント）の順に選択します

作業	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>人間工学的情報の検索</li> </ul>	<p>『快適に使用していただくために』</p> <p>このガイドを表示するには、<b>[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP ヘルプとサポート]→[HP Documentation]</b> (HP ドキュメント) の順に選択します</p> <p>または</p> <p><a href="http://www.hp.com/ergo/">http://www.hp.com/ergo/</a> (英語サイト) から[日本語]を選択します</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターの保証情報の検索</li> </ul>	<p>限定保証規定*</p> <p>日本向けの日本語モデルに適用される HP 限定保証規定は、製品に付属の小冊子、『サポートガイド (保証規定)』に記載されています</p>

\* HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されているドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サポートガイド (保証規定)』が付属しています。また、日本以外でも、印刷物の保証規定が製品に付属している国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、コピーを入手できます。  
<http://www.hp.com/go/orderdocuments/> でオンラインで申し込むか、アジア太平洋地域で購入された製品につきましては、POD, PO Box 161, Kitchener Road Post Office, Singapore 912006 宛てに郵送でも申し込めます。その場合は、お使いの製品名、およびお客様のお名前、お電話番号、ご住所をご明記ください。

## 2 コンピューターのセットアップ

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 水、ほこり、湿気、油煙などの多い場所に設置しないでください。これらの環境要因によって、コンピューター内部の温度が上昇して、火災や感電の原因となることもあります。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。アース端子は重要な安全機能です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。レーザー光を直接浴びないようにするため、CD ドライブまたは DVD ドライブを分解しないでください。
- 電源装置は、コンピューターを購入した国/地域に対応するよう事前に設定されています。他の国/地域で使用する場合は、電源コンセントにコンピューターのプラグを差し込む前に、その国/地域の電圧条件を調べてください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このガイドを表示するには、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択します。

1. コンピューターは、本体の周囲に十分な間隔を空け、通気孔が塞がれないような場所に置いてください。ケーブルは、通路上、家具の下、または踏まれるような場所に敷設しないでください。
2. モニター、コンピューター、オプション製品などあらゆる電源コードを無停電電源機能（UPS）に接続する場合は、電力サージ保安検出器を使用することをおすすめします。コンピューターで TV チューナー、モデム接続、または電話接続を使用する場合は、それらの信号入力でもサージ保安器を使用してコンピューターを保護します。TV ケーブルまたは電話回線コードをサージ保安器に接続してから、コンピューターにサージ保安器を接続します。
3. オペレーティングシステムの更新プログラムをダウンロードしてインストールします。
  - a. お使いのコンピューターで現在実行されているオペレーティングシステムとバージョンを調べます。

[スタート]を選択し、検索フィールドに「システム」と入力して、[システム情報]を選択します。
  - b. インターネットブラウザを開き、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
  - c. [ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
  - d. コンピューターの製品名または製品番号を検索フィールドに入力し、[製品の検索]を選択します。
  - e. コンピューターのオペレーティングシステムを選択します。
  - f. ダウンロードする更新プログラムごとに横にある[ダウンロード]を選択します。
  - g. 画面の説明に沿って操作し、ダウンロードした各更新プログラムをインストールします。
4. 追加の印刷物や最新情報が梱包箱に入っていないか確認します。

コンピューターの初回セットアップを完了すると、ハードウェア デバイスまたはソフトウェアを追加できます。お使いのコンピューター用にハードウェアやソフトウェアを購入する前に、それらの製品について、オペレーティングシステム、メモリ、その他の要件の一覧を確認します。新しいソフトウェアをインストールするには、ソフトウェアの製造販売元の説明に沿って操作します。

 **注記：**ライセンスのあるオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。不正にコピーされたソフトウェアをインストールすると、動作が不安定になったり、コンピューターがウイルスに感染したり、違法行為を問われたりする危険性があります。

 **注記：**セキュリティ機能に抑止効果はありますが、盗難、誤った取り扱い、またはソフトウェアによる攻撃を完全に防ぐものではありません。

## インターネットへの接続（一部の製品のみ）

無線ネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

 **注記：**無線ローカルエリアネットワーク（無線 LAN）を設定してインターネットに接続するには、ブロードバンド モデム（DSL または ケーブル、別売）、インターネット サービス プロバイダーが提供する高速インターネット サービス、および無線ルーター（別売）が必要です。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
2. タスクバーにあるネットワーク ステータス アイコンを選択し、使用可能なネットワークのどれかに接続します。

無線 LAN がセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[次へ]**を選択して接続を完了します。

 **注記：**無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセスポイントの範囲外にいる可能性があります。

 **注記：**接続したい無線 LAN が表示されない場合は、タスクバーにあるネットワーク ステータス アイコンを右クリックまたはダブルタップし、**[ネットワークと共有センターを開く]**を選択します。**[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**を選択します。**[接続オプションの一覧]**が表示されて、手動で検索してネットワークに接続したり、新しいネットワーク接続を作成するなどの操作を選択できます。

3. 画面の説明に沿って操作し、接続を完了します。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク ステータス アイコンを選択すると、接続の名前およびステータスを確認できます。

有線ネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. 8 ピンの RJ-45（ネットワーク）ケーブルの一方の端をコンピューターのネットワーク コネクタに接続します。
2. ネットワーク ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントまたはルーターに差し込みます。

 **注記：**ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コアが取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方の端をコンピューターに接続します。

インターネットへの接続に問題がある場合は、[13 ページのインターネットアクセス](#)を参照してください。

## コンピューターのシャットダウン

 **注意**：コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。必ず作業中のデータを保存してからコンピューターをシャットダウンしてください。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティングシステムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合、コンピューターをシャットダウンします。

- コンピューター内部の部品に触れる必要がある場合
- USB ポート、ビデオ コネクタ、ヘッドフォン コネクタ、またはマイク コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェアデバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源ボタンでコンピューターの電源を切ることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した以下の手順をおすすめします。

 **注記**：コンピューターがスリープまたは休止状態の場合は、まず電源ボタンを短く押してスリープまたは休止状態を終了してください。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]ボタン→[シャットダウン]の順に選択します。

## 3 画面の操作

以下の方法でコンピューター画面を操作できます。

- タッチ ジェスチャの使用（一部の製品のみ）
- キーボードおよびマウスの使用

一部のモデルのコンピューターのキーボードには、通常のタスクを実行するための特殊な操作キーまたはホットキー機能も含まれています。

### タッチ ジェスチャの使用

設定、ボタンの構成、クリック速度、およびポインター オプションを変更することで、タッチ ジェスチャをカスタマイズできます。

タスクバーの検索ボックスで、「コントロール」と入力し、**[コントロールパネル]**を選択します。**[ハードウェアとサウンド]**を選択します。**[デバイスとプリンター]**で、**[マウス]**を選択します。

 **注記：**アプリケーションによっては、一部のタッチ ジェスチャに対応していない場合があります。

### キーボードおよびマウスの使用

キーボードおよびマウスを使用すると、入力、項目の選択、スクロールができ、タッチ ジェスチャを使用する場合と同じ機能の実行が可能です。キーボードを使用すると、操作キーおよびホットキーを使って特定の機能も実行できます。

 **注記：**国または地域によっては、キーボードのキーおよび機能がこの項目での説明と異なる場合があります。

### 操作キーまたはホットキーの使用

特定のキーやキーの組み合わせを使用して、さまざまな方法ですばやく情報にアクセスしたり、機能を実行したりできます。

- **操作キー：**割り当てられている機能が実行されます。キーボード上部にある操作キーのアイコンは、そのキーに割り当てられている機能を表します。

操作キーの機能を使用するには、そのキーを押したままにします。

- **ホットキー：**Fn キーと、Esc キー、スペースバー、または適切な操作キーとの組み合わせです。ホットキーを使用するには、Fn キーを短く押し、次にホットキーの組み合わせの2番目のキーを短く押します。

コンピューターのモデルによっては、お使いのキーボードが以下のキーをサポートしている場合があります。

アイコン	説明
	[検索]を開きます
	オーディオ CD の前のトラックまたは DVD や BD の前のチャプターを再生します
	オーディオ CD、DVD、または BD の再生を開始、一時停止、または再開します
	オーディオ CD の次のトラックまたは DVD や BD の次のチャプターを再生します
	オーディオ CD、DVD、または BD のオーディオまたは動画の再生を停止します
	印刷オプション ウィンドウを表示します
	クリップボードの内容を貼り付けます
	スリープを開始します。これによって、情報がシステム メモリに保存されます。ディスプレイとその他のシステム コンポーネントはオフになり、節電されます スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します <b>注意：</b> 情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください
	スピーカーの音をミュート（消音）したり元に戻したりします
	このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	このキーを押したままにすると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	選択したオブジェクトのオプションを表示します

## 4 コンピューターの保護

お使いのコンピューターには、不正なアクセスからシステムおよびデータを守るための機能が搭載されています。以下の説明を参照して、各機能を適切に使用してください。

### コンピューターのセキュリティ機能

コンピューターへの脅威	コンピューターの機能
コンピューターまたはユーザー アカウントの不正な使用	ユーザー パスワード パスワードは、コンピューターの情報を保護するためにユーザーが指定する文字列です
セットアップユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピューター ウィルス	ウィルス対策ソフトウェア コンピューターにプリインストールされている無料の試用版ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除でき、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復できます。試用期間を過ぎた後も新しいウィルスから保護するには、延長更新サービスを購入します
データへの不正なアクセスおよびコンピューターに対して続く脅威	ファイアウォールソフトウェア <ul style="list-style-type: none"><li>Windows 7 には、ファイアウォールソフトウェアが含まれています</li><li>コンピューターにプリインストールされているウィルス対策ソフトウェアにも、ファイアウォールソフトウェアが含まれています</li></ul> Windows 7 の重要なセキュリティ更新 Microsoft では、継続的に Windows 7 オペレーティング システムを更新しています

## 5 トラブルシューティング

モニターやプリンターなどの周辺機器に固有の問題については、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。以下の表に、コンピューターの設置、起動、または使用時に発生する可能性がある問題および考えられる解決策を示します。

トラブルシューティングのオプションについて詳しくは、コンピューターに付属の冊子『クイックセットアップ』を参照するか、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして、お使いのコンピューターのモデルを検索してください。

### コンピューターが起動しない

トラブル	解決方法
ハードディスクドライブのエラーメッセージが表示される	コンピューターを再起動します <ol style="list-style-type: none"><li>キーボードの <b>Ctrl</b> キー、<b>Alt</b> キー、および <b>Delete</b> キーを同時に押します</li><li>赤い[シャットダウン]ボタンの横にある[矢印]ボタン→[再起動]の順に選択します <b>または</b>、電源ボタンを5秒以上押したままにしてコンピューターの電源を切ってから、電源ボタンを押してコンピューターを再起動します</li><li>Windows が起動する場合は、すべての重要データを直ちにバックアップハードディスクドライブにバックアップします</li><li>Windows を起動できたかどうかをサポート窓口に連絡します ハードディスクドライブまたはシステムボードの交換が必要な場合があります</li></ol>
コンピューターの電源が入らない、または起動しない	コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します。コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピューター背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、サポート窓口にお問い合わせください  ディスプレイ（モニター）に何も表示されない場合は、モニターが正しく接続されていない可能性があります。モニターコネクタをコンピューターに接続してしっかりと差し込み、電源を入れます。 <a href="#">10 ページのディスプレイ（モニター）</a> を参照してください  電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします
コンピューターがロックされ応答していないように見える	Windows の[タスク マネージャー]で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピューターを再起動します <ol style="list-style-type: none"><li>キーボードの <b>Ctrl</b> キー、<b>Alt</b> キー、および <b>Delete</b> キーを同時に押します</li><li>[タスク マネージャーの起動]を選択します</li><li>応答していないプログラムを選択して、[タスクの終了]を選択します</li></ol> プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピューターを再起動します <ol style="list-style-type: none"><li>キーボードの <b>Ctrl</b> キー、<b>Alt</b> キー、および <b>Delete</b> キーを同時に押します</li><li>赤い[シャットダウン]ボタンの横にある[矢印]ボタン→[再起動]の順に選択します <b>または</b>、電源ボタンを5秒以上押したままにしてコンピューターの電源を切ってから、電源ボタンを押してコンピューターを再起動します</li></ol>

トラブル	解決方法
無効なシステムディスク、非システムディスク、またはディスクエラーに関するメッセージが表示される	ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードの <b>スペースキー</b> を押します。これで、コンピューターが起動します

## 電源

トラブル	解決方法
電源ボタンを押してもコンピューターの電源が切れない	コンピューターの電源が切れるまで、 <b>電源ボタン</b> を押したままにします。電源設定を確認します
コンピューターが自動的にシャットダウンする	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピューターを冷却します</li> <li>コンピューターの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。<a href="#">22ページの埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護</a>を参照してください（コンピューターによっては、内部ファンがない場合もあります）</li> </ul>

## ディスプレイ（モニター）

トラブル	解決方法
画面に何も表示されず、モニターの電源ランプが点灯しない	<p>モニター背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします</p> <p>モニターの<b>電源ボタン</b>を押します</p>
画面に何も表示されません	<p>キーボードの<b>スペースキー</b>を押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします</p> <p><b>スリープボタン</b>（一部のモデルのみ）またはキーボードの <b>Esc</b> キーを押して、スリープモードから復帰します</p> <p><b>電源ボタン</b>を押し、コンピューターの電源を入れます</p> <p>モニターのビデオコネクタに曲がっているピンがないかどうかをチェックします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲がっているピンがある場合は、モニターコネクタケーブルを交換します</li> <li>曲がっているピンがない場合は、モニターコネクタケーブルをコンピューターに接続しなおします</li> </ul> <p>コンピューターとモニターを接続しているケーブルを確認します</p> <p>コンピューターとモニターを1対1で接続する場合は、VGA、DVI、またはHDMIのうち1種類のケーブルのみを使用します（複数のケーブルを接続すると不具合が生じる場合があります）</p>
画面上の画像が大きすぎる/小さすぎる、またはぼやけている	<p>モニターの解像度設定を調整します</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>[スタート]</b>→<b>[コントロールパネル]</b>の順に選択します</li> <li><b>[デスクトップのカスタマイズ]</b>の<b>[画面の解像度の調整]</b>を選択します</li> <li>必要に応じて解像度を調整して、<b>[適用]</b>を選択します</li> </ol>

**注記：**ここに示されている情報の他に、お使いのモニターに付属の説明書も参照してください

## キーボードおよびマウス（有線）

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピューターに認識されない	マウスを使用してコンピューターの電源を切り、キーボードのケーブルをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
有線マウスが動作しない、または検出されない	マウスケーブルをコンピューターから抜き、接続しなおします それでもマウスが検出されない場合は、コンピューターの電源を切り、マウスケーブルを抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	キーボードの <b>Num Lock</b> キーを押して <b>Num Lock</b> ランプを消灯させ、テンキーの矢印キーが使用できるようにします
カーソルがマウスの動きに反応しない	キーボードを使用して、開いているすべてのプログラムの変更を保存し、コンピューターを再起動します <ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>Alt</b> キーと <b>Tab</b> キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します</li><li>2. <b>Ctrl</b> キーと <b>S</b> キーを同時に押し、選択されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、<b>Ctrl</b> + <b>S</b> キーは、保存を行うためのキーボードショートカットです）</li><li>3. 開いているすべてのプログラムで、手順 1~2 を繰り返して変更を保存します</li><li>4. 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、キーボードの <b>Ctrl</b> キーと <b>Esc</b> キーを同時に押し、Windows の[スタート]メニューを表示します</li><li>5. 矢印キーを使用して[シャットダウン]ボタンの隣の<b>矢印</b>ボタンを選択します。[シャットダウン]を選択して、<b>Enter</b> キーを押します</li><li>6. シャットダウンが完了したら、マウスコネクタをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします</li></ol>

## キーボードおよびマウス（無線）

トラブル	解決方法
無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 無線キーボードまたは無線マウスをレシーバーの受信範囲内で使用していることを確認します。受信範囲は、通常の使用時は約 10 m、初回セットアップ時または再同期時は 30 cm 以内です</li><li>● マウスがサスペンドモードに入っていないことを確認します。サスペンドモードは、20 分間操作が行われないと実行されます。マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをクリックします</li><li>● キーボードおよびマウスの電池を交換します</li><li>● 以下の手順を使用して、キーボードおよびマウスとレシーバーとを再同期します</li></ul> <p>以下の図に示されているレシーバー、無線キーボード、および無線マウスは一例であり、お使いのモデルによって異なる場合があります。重要：以下の手順では、無線キーボードおよび無線マウスは、レシーバーと同じ高さで、レシーバーから 30 cm 以内で、他のデバイスから干渉を受けない位置に配置します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. コンピューターの USB ポートからレシーバーを抜いて、接続しなおします。お使いのモデルのコンピューターによっては、レシーバー専用のコネクタがある場合があります。可能な場合は、コンピューター前面の USB ポートを使用します</li></ol>

トラブル	解決方法
	 <ol style="list-style-type: none"> <li>マウスの底面で、電源スイッチ (A) がオンになっていることを確認し、Connect (接続) ボタン (B) を、レシーバーのランプが点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5~10 秒程度押したままにします。レシーバーの接続セッションは 60 秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバーがタイムアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして画面上での反応を見ます</li> </ol>  <ol style="list-style-type: none"> <li>マウスの接続が確立された後、キーボードの接続も確立する場合は、以下の手順に進みます</li> <li>キーボードの裏面の Connect ボタンを、レシーバーのランプが点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5~10 秒程度押したままにします</li> </ol> 

## スピーカーおよびサウンド

トラブル	解決方法
音量が異常に小さい、または十分でない	<p>スピーカーがコンピューター背面のライン出力コネクタ (黄緑色) に接続されていることを確認します (マルチチャンネルスピーカーの場合は、追加のオーディオコネクタが使用されています)。電源供給機能のないスピーカー (電池や専用の電源コードなど専用の電源がないスピーカー) を使用すると十分な音量が出ません。電源供給機能のないスピーカーを、電源供給機能付きのスピーカーに交換します</p>
音が出ない	<ol style="list-style-type: none"> <li>[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[アクションセンター]→[トラブルシューティング]の順に選択します</li> <li>[ハードウェアとサウンド]で、[オーディオ再生のトラブルシューティング]を選択します</li> </ol> <p>グラフィックスカードの HDMI (High-Definition Multimedia Interface) コネクタ (一部のモデルのみ) を使用してモニターをコンピューターに接続する場合、コンピューターの初回セットアップ時にサウンドを聴くには、アナログスピーカーもコンピューターのオーディオライン出力コネクタに接続する必要があります。アナログスピーカーの接続方法については、『コンピューターの準備』を参照してください</p> <p>モニターの内蔵スピーカーを使用している場合は、モニターのフロントパネルの音量ボタンを使用して音量を調節します。フロントパネルのボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示し、オーディオが有効になっていることと、音量が適切に設定されていることを確認します</p> <p>電源付き (アクティブ) スピーカーが接続されていて、その電源がオンになっていることを確認します</p> <p>コンピューターの電源を切り、スピーカーのケーブルを抜いて、接続しなおします。スピーカーがライン入力コネクタやヘッドフォンコネクタではなく、オーディオコネクタに接続されていることを確認します</p>

トラブル	解決方法
	スリープモードから復帰させるには、スリープボタン（一部のモデルのみ）を押すか、Esc キーを押します
	ヘッドフォンがコンピューター（またはスピーカー システム）に接続されている場合は、取り外します

## インターネットアクセス

トラブル	解決方法
インターネットプログラムが自動的に起動しない	ご利用のインターネットサービス プロバイダー（ISP）にログインしてから、必要なプログラムを起動してみます
インターネットに接続できない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[アクションセンター]→[トラブルシューティング]</b>の順に選択します</li> <li>2. <b>[ネットワークとインターネット]</b>で、<b>[インターネットに接続する]</b>を選択します</li> </ol> <p>ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピューターには、イーサネットネットワークアダプター（ネットワークインターフェイスカードまたは NIC とも呼ばれます）が搭載されている場合があります。モデムは標準の電話回線を使用しますが、ネットワークアダプターはネットワークケーブルを使用してローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されます。電話回線をネットワークアダプターに接続しないでください。また、ネットワークケーブルを電話線に接続しないでください。接続するとネットワークアダプターが損傷する場合があります</p> <p>無線ネットワークの接続ウィザードを実行します</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]</b>の順に選択します</li> <li>2. <b>[ネットワークと共有センター]</b>ウィンドウで、<b>[新しい接続またはネットワークのセットアップ]</b>を選択してウィザードを開き、画面の説明に沿って操作します</li> </ol> <p>お使いのシステムにアンテナが外付けされている場合は、アンテナを動かしてみます。アンテナが内蔵されている場合は、コンピューター本体を動かしてみます</p> <p>後でもう一度接続してみるか、またはご利用のインターネットサービス プロバイダー（ISP）に問い合わせます</p>

## ソフトウェアのトラブルシューティング

トラブル	解決方法
ソフトウェアの問題を修復するには、以下の方法を試してみます	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターの電源を完全に切り、もう一度入れます。これが最も簡単（かつ、多くの場合に最適な）方法です</li> <li>• ドライバーを更新します（下の「デバイスドライバーの更新」を参照してください）</li> <li>• Microsoft の[システムの復元]ソフトウェアプログラムとハードウェア ドライバーのインストールを使用します（この表の「Microsoft の[システムの復元]」を参照してください）。コンピューターを、ソフトウェアがインストールされる前に使用していた構成に復元します</li> <li>• ソフトウェアプログラムまたはハードウェア ドライバーを再インストールします（この表の「ソフトウェアプログラムおよびハードウェア ドライバーの再インストール」を参照してください）。ソフトウェア（製品に付属している場合）またはハードウェア ドライバーを出荷時設定に戻します</li> </ul>

トラブル	解決方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムリカバリ（16ページの「システムリカバリ」を参照してください）を実行します。ハードディスクドライブの内容を消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。この操作を行うと、作成していたすべてのデータファイルが消去されます</li> </ul>
デバイスドライバーの更新	<p>ドライバーを更新するには、また、新しいドライバーで問題が解決されない場合にドライバーの以前のバージョンに戻すには、以下の操作を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>【スタート】</b>を選択します</li> <li>2. <b>【検索を開始】</b>ボックスにデバイス マネージャーと入力し、<b>【デバイス マネージャー】</b>を選択して、<b>【デバイス マネージャー】</b>ウィンドウを開きます</li> <li>3. 矢印を選択して、更新または元に戻すデバイスの種類（[DVD/CD-ROM ドライブ]など）を展開します</li> <li>4. 目的の項目（[HP DVDライター 640b]など）を右クリックまたはダブルタップして、ポップアップメニューから<b>【プロパティ】</b>を選択します</li> <li>5. <b>【ドライバー】</b>タブを選択します</li> <li>6. ドライバーを更新するには、<b>【ドライバーの更新】</b>を選択して、画面の説明に沿って操作します または、ドライバーを以前のバージョンに戻す場合は、<b>【ドライバーを元に戻す】</b>を選択し、画面の説明に沿って操作します</li> </ol>
Microsoft の[システムの復元]	<p>コンピューターにインストールしたソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元]を使用して、コンピューターを以前の復元ポイントに戻します。復元ポイントは手動で設定することもできます</p> <p><b>注記：</b>システムリカバリプログラムを使用する前に、必ず[システムの復元]を実行してください Windows が搭載されていないシステムでは、一部の機能を使用できない場合があります</p> <p><b>【システムの復元】</b>を開始するには、以下の操作を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開いているすべてのプログラムを閉じます</li> <li>2. <b>【スタート】</b>を選択して<b>【コンピューター】</b>を右クリックまたはダブルタップし、<b>【プロパティ】</b>を選択します</li> <li>3. <b>【システムの保護】</b>→<b>【システムの復元】</b>→<b>【次へ】</b>の順に選択し、画面の説明に沿って操作します</li> </ol> <p>復元ポイントを手動で追加するには、以下の操作を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開いているすべてのプログラムを閉じます</li> <li>2. <b>【スタート】</b>を選択して<b>【コンピューター】</b>を右クリックまたはダブルタップし、<b>【プロパティ】</b>→<b>【システムの保護】</b>の順に選択します</li> <li>3. <b>【保護設定】</b>で、復元ポイントを作成するディスクを選択します</li> <li>4. <b>【作成】</b>を選択し、画面の説明に沿って操作します</li> </ol>
ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール	<p>工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのどれかが破損した場合は、[リカバリ マネージャー]プログラムを使用して再インストールできます（一部のモデルのみ）</p> <p><b>注記：</b>コンピューターに付属の CD または DVD からインストールしたソフトウェアプログラムを再インストールする場合は、[リカバリ マネージャー]プログラムを使用しないでください。これらのプログラムは CD または DVD から直接再インストールしてください</p> <p>プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在も利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、[リカバリ マネージャー]から再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します</p> <p><b>注記：</b>Windows が搭載されていないシステムでは、一部の機能を使用できない場合があります</p>

---

**トラブル****解決方法**

---

[リカバリ マネージャー]でインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の操作を行います

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）→**[Recovery Manager]**の順に選択します。プログラムを続行する許可を求めるメッセージが表示されたら、**[はい]**を選択して許可します
2. **[I need help immediately]**（早急に手助けが必要）で、**[Software Program Reinstallation]**（ソフトウェアプログラムの再インストール）を選択します。
3. **[Welcome]**（ようこそ）画面で**[Next]**（次へ）を選択します。プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します

---

[リカバリ マネージャー]を使用してプログラムを再インストールするには、以下の操作を行います

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]→[Recovery Manager]**の順に選択します
2. **[Software Program Reinstallation]**を選択し、**[Welcome]**画面で**[Next]**を選択します
3. インストールするプログラムを選択し、**[Next]**を選択して画面の説明に沿って操作します
4. 再インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。**最後の手順を省略しないでください。**ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのリカバリが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります

---

プログラムをアンインストールするには、以下の操作を行います

1. すべてのソフトウェアプログラムおよびフォルダーを閉じます
  2. **[スタート]→[コントロールパネル]**の順に選択します
  3. **[プログラム]**で、**[プログラムのアンインストール]**を選択します
  4. 削除するプログラムを選択し、**[アンインストール]**を選択します
-

## 6 システム リカバリ

システム リカバリでは、ハードディスクドライブの内容（作成したデータ ファイルを含む）を完全に消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。ただし、工場出荷時にコンピューターにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピューターに付属のメディアからインストールしたソフトウェア、およびコンピューター購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

 **注記：** システム リカバリプログラムを使用する前に、必ず[システムの復元]を実行します。[13 ページのソフトウェアのトラブルシューティング](#)の「Microsoft の[システムの復元]」を参照してください。

Windows が搭載されていないシステムでは、一部の機能を使用できない場合があります。

### システム リカバリの方法の選択

システム リカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- リカバリ イメージ：ハードディスクドライブに格納されているリカバリ イメージからシステム リカバリを実行します。リカバリ イメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。リカバリ イメージを使用したシステム リカバリの実行については、[17 ページの Windows 7 の\[スタート\]メニューからのシステム リカバリの開始](#)を参照してください。

 **注記：** リカバリ イメージは、データ保存に使用できないハードディスクドライブ領域を使用します。

- リカバリ メディア：ハードディスクドライブに格納されているファイルから作成したリカバリ メディア、または別売のリカバリ メディアから、システム リカバリを実行します。リカバリ メディアの作成については、[20 ページのリカバリ メディアの作成](#)を参照してください。

### システム リカバリのオプション

システム リカバリを実行するには以下のオプションがあります。

- [スタート]メニューから[HP Recovery Manager]（リカバリ マネージャー）を選択して、ハードディスクドライブから実行します。
- ハードディスクドライブを使用して、システムの起動中にキーボードの **F11** を押して実行します。
- 作成したリカバリ メディアから実行します。
- HP のサポート窓口で購入したリカバリ ディスクから実行します。リカバリ ディスクの購入については、<http://www.hp.com/jp/recoverykit/> を参照してください。

## Windows 7 の[スタート]メニューからのシステム リカバリの開始

△ **注意** : システム リカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたはUSBフラッシュドライブにバックアップしておいてください。

コンピューターが機能しており、Windows 7 を使用できる場合は、以下の手順で**システム リカバリ**を実行します。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
3. コンピューターの電源を入れます。
4. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Security and Protection]**（セキュリティと保護）→**[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャー）→**[Recovery Manager]**の順に選択します。プログラムを続行する許可を求めるメッセージが表示されたら、**[はい]**を選択して許可します。
5. **[I need help immediately]**（早急に手助けが必要）で、**[System Recovery]**（システム リカバリ）を選択します。
6. **[Yes]**（はい）→**[Next]**（次へ）の順に選択します。コンピューターが再起動します。

 **注記** : システムのリカバリパーティションが検出されなかった場合は、リカバリメディアを挿入するよう求められます。ディスクまたはUSBフラッシュドライブを挿入し、**[はい]**→**[次へ]**の順に選択します。コンピューターが再起動したら、リカバリディスクまたはリカバリUSBフラッシュドライブから**[リカバリ マネージャー]**を実行します。ディスクを使用している場合は、次のシステムリカバリディスクを挿入するよう求めるメッセージが表示されたら、次のディスクと入れ替えます。

7. コンピューターが再起動すると、**[HP Recovery Manager]**の**[Welcome]**（ようこそ）画面がもう一度表示されます。**[I need help immediately]**で、**[System Recovery]**を選択します。ファイルのバックアップを求めるメッセージが表示され、まだバックアップを実行していない場合は、**[Back up your files first (recommended)]**（最初にファイルをバックアップ（推奨））→**[Next]**の順に選択します。すでにバックアップが完了している場合は、**[Recover without backing up your files]**（ファイルをバックアップせずに復元）→**[Next]**の順に選択します。
8. **[System Recovery]**が開始されます。**[System Recovery]**の完了後、**[Finish]**（終了）を選択してコンピューターを再起動します。
9. セットアップを行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
10. コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

## システム起動中のシステム リカバリの開始

△ **注意** : システム リカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたはUSBフラッシュドライブにバックアップしておいてください。

コンピューターは機能するのに、Windows 7 を使用できない場合は、以下の手順でシステム リカバリを実行します。

1. コンピューターの電源を切ります。必要であれば、コンピューターの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
2. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
3. 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。
4. 起動中に HP Invent のロゴが表示されたら、**[ファイルをロードしています]**というメッセージが表示されるまで、キーボードの **F11** を繰り返し押します。
5. **[I need help immediately]**（早急に手助けが必要）で、**[System Recovery]**（システム リカバリ）を選択します。
6. ファイルのバックアップを求めるメッセージが表示され、まだバックアップを実行していない場合は、**[Back up your files first (recommended)]**（最初にファイルをバックアップ（推奨））→**[Next]**（次へ）の順に選択します。すでにバックアップが完了している場合は、**[Recover without backing up your files]**（ファイルをバックアップせずに復元）→**[Next]**の順に選択します。
7. [System Recovery]が開始されます。[System Recovery]の完了後、**[Finish]**（終了）を選択してコンピューターを再起動します。
8. セットアップを行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
9. コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

## リカバリ メディアからのシステム リカバリの開始

**△注意：**システム リカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたは USB フラッシュドライブにバックアップしておいてください。

リカバリ メディアの作成については、[19 ページのリカバリ メディア](#)を参照してください。

リカバリ メディアを使用してシステム リカバリを実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータ ファイルを DVD または USB フラッシュドライブにバックアップし、ドライブトレイからバックアップメディアを取り出します。
2. リカバリ DVD を使用する場合は、『リカバリ ディスク#1』を DVD ドライブトレイに挿入し、トレイを閉じます。リカバリ USB フラッシュドライブを使用する場合は、USB フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。
3. コンピューターが動作している場合は、**[スタート]**→**[シャットダウン]**の横にある矢印ボタン→**[シャットダウン]**の順に選択します。または、コンピューターが応答しない場合は、コンピューターの電源が切れるまで、約 5 秒間**[電源]**ボタンを押したままにします。
4. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
5. 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。リカバリ DVD を使用する場合は、ディスクからリカバリ マネージャーが自動的に起動します。手順 7 に進んでください。

6. USB フラッシュドライブからシステム リカバリを実行する場合は、**Esc** キーを押したままコンピューターの電源を入れて、起動メニューを表示します。矢印キーを使用して USB デバイスを選択し、**Enter** キーを押して USB デバイスから起動します。
7. メディアとハードディスクドライブのどちらからシステム リカバリを行うかを選択するウィンドウが表示された場合は、[メディア]を選択し、**[次へ]**を選択します。
8. **[I need help immediately]** (早急に手助けが必要) で、**[Factory Reset]** (工場出荷時状態へリセット) を選択します。
9. ファイルのバックアップを求めるメッセージが表示され、まだバックアップを実行していない場合は、**[Back up your files first (recommended)]** (最初にファイルをバックアップ (推奨)) → **[Next]** (次へ) の順に選択します。すでにバックアップが完了している場合は、**[Recover without backing up your files]** (ファイルをバックアップせずに復元) → **[Next]** の順に選択します。
10. 次のリカバリ ディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します。
11. リカバリ マネージャーの処理が完了したら、システムからすべてのリカバリ ディスクを取り出します。
12. **[Finish]** (終了) を選択して、コンピューターを再起動します。

## リカバリ メディア

リカバリ メディアは、空の DVD ディスクまたは USB フラッシュドライブのどちらか一方で作成できます (両方で作成することはできません)。リカバリ メディアは、ハードディスクドライブに格納されているリカバリ イメージから作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピューターにインストールされていたオペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムのファイルが含まれています。お使いのコンピューターで作成できるリカバリ メディアは 1 セットのみです。また、作成したメディアはそのコンピューターのみで使用できます。安全な場所に保管してください。

 **注記** : Windows が搭載されていないシステムでは、一部の機能を使用できない場合があります。

## リカバリ メディアの選択

- リカバリ ディスクを作成するには、コンピューターに DVD 書き込みドライブが搭載されている必要があります。また、高品質の空の DVD+R ディスクまたは DVD-R ディスクのみを使用する必要があります。
-  **注記** : CD、DVD+RW、DVD-RW、DVD+RW DL、DVD-RW DL、DVD+R DL、または DVD-R DL ディスクは、リカバリ ディスクの作成に使用できません。
- リカバリ ディスクを作成する場合は、必ず高品質のディスクを使用してリカバリ ディスク セットを作成してください。ディスクに問題がある場合にはそのディスクを使用できませんが、これは異常ではありません。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます。
  - リカバリ ディスクに使用されるディスクの数は、お使いのモデルのコンピューターによって異なります (通常は 1~3 枚です)。リカバリ ディスク作成プログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。
  - 代わりに、高品質の空の USB フラッシュドライブを使用して、リカバリ USB フラッシュドライブを作成することもできます。USB フラッシュドライブを使用する場合は、すべてのデータを保存するために必要なドライブ容量が示されます (最小で 8 GB)。

 **注記：**リカバリメディアを作成する作業は、メディアに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行するときは、中止した場所から再開されます。

## リカバリメディアの作成

リカバリディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Security and Protection]** (セキュリティと保護) →**[Recovery Manager]** (リカバリマネージャー) →**[Recovery Media Creation]** (リカバリメディアの作成) の順に選択します。プログラムを続行する許可を求めるメッセージが表示されたら、**[はい]**を選択して許可します。
3. **[Create recovery media using blank DVD(s)]** (空のDVDを使用してリカバリメディアを作成する) →**[Next]** (次へ) の順に選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。作成したリカバリディスクにはラベル (リカバリ1、リカバリ2など) を付けます。

リカバリUSBフラッシュドライブを作成するには、以下の操作を行います。

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. USBフラッシュドライブをコンピューターのUSBポートに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Security and Protection]** (セキュリティと保護) →**[Recovery Manager]** (リカバリマネージャー) →**[Recovery Media Creation]** (リカバリメディアの作成) の順に選択します。
4. **[Create recovery media with a USB flash drive]** (USBフラッシュドライブを使用してリカバリメディアを作成する) →**[Next]**の順に選択します。
5. メディアの一覧からUSBフラッシュドライブを選択します。リカバリドライブを作成するために必要な容量が示されます。USBフラッシュドライブに十分な容量 (最小で8GB) がない場合、そのドライブは画面で選択できません。**[Next]**を選択します。

 **注記：**フラッシュドライブがフォーマットされ、保存されているファイルがすべて削除されます。

6. 画面の説明に沿って操作します。USBフラッシュドライブにラベルを付けて、安全な場所に保管してください。

 **注記：**リカバリメディアの作成にSDカード、メモリースティックなどのメディアカードは使用しないでください。メディアカードからシステムを起動できず、システムリカバリを実行できない可能性があります。

## 7 メンテナンス

単純なメンテナンスを実行し、コンピューターが最高のパフォーマンスで動作するようにすることが重要です。

### スケジュールおよびタスク

実行するタイミング	タスク	説明
メンテナンスを適切に行うには、推奨される間隔で以下の作業を実行してください		
毎週	ソフトウェアのクリーンアップ	<b>[ディスククリーンアップ]</b> 、または他社製の安全なクリーニングツールを使用して、システムの動作を低下させる原因となる、蓄積された不要なファイルや一時ファイルを削除します。また、不要になったプログラムを確認して、それらをアンインストールします
	デフラグ	<b>[ディスク デフラグ]</b> プログラムを実行して、ハードディスクを最適な状態に保ち、システムパフォーマンスを向上させます。この作業を頻繁に実行しても、システムに害を与えることはありません
	ウィルス スキャン	完全なウィルス スキャンを毎週実行することによって、知らないうちに入り込む可能性があるウィルスをキャッチできます。ほとんどのウィルス対策製品には、これを自動的に追跡するスケジュール機能があります
毎月	ハードウェアのクリーンアップ	コンピューターの内部および外部をすべてクリーニングします
	ソフトウェアの更新	<b>[Windows Update]</b> を使用して、オペレーティングシステムのバグを修正し、パフォーマンスを向上させます。また、ハードウェアのドライバ更新プログラム、および使用しているプログラムの新しいバージョンの確認も行います
	Windows Update	<b>[Windows Update]</b> を毎月実行して更新プログラムをインストールします
	ハードディスクの診断	<b>ハードディスクの診断</b> を行うと、ハードディスクの障害を、被害が出る前に検出できる場合があります
毎年	システム リカバリ	コンピューターの使用方法にもよりますが、システムは、いつかは完全に停止する可能性があります。システム リカバリを使用して、インストールされていた Windows オペレーティングシステムをいったん完全に消去し、初めてシステムを起動したときの元の構成に復元することができます。 <b>システム リカバリを実行する前に、重要なデータファイルをバックアップします。</b> 詳しくは、 <a href="#">16 ページの「システム リカバリ」</a> を参照してください
必要に応じて	データのバックアップ	お使いのコンピューターにインストールされている CD または DVD 作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メール メッセージ、および Web サイトのお気に入りなどの重要な情報のバックアップディスクを作成（書き込み）できます。また、データを外部ハードディスクドライブに移動することもできます

## 埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護

お使いのコンピューターシステムを埃、汚れ、および熱から守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを1か月に1回確認し、3か月に1回程度クリーニングしてください。

## コンピューターおよびモニターのクリーニング

以下の手順に沿って、コンピューターおよびモニターのクリーニングを行います。

1. コンピューターおよびモニターを電源から切り離します。
2. モニターの表面をクリーニングするには、乾いた清潔な布を使用します。**モニター画面には水分を付けないでください。**よりしっかりとクリーニングする場合は、静電気防止効果のあるスクリーンクリーナーを清潔な布に付けて使用します。
3. 乾いた清潔な布で、コンピューターの表面およびモニターの表面の埃を取り除きます。

 **注記:** コンピューターまたはモニターの表面に付いたシールの粘着剤や液体を拭き取るには、イソプロピル（消毒用）アルコールを毛羽立ちのない布に付けて使用します。

## コンピューターの通気孔のクリーニング

通気孔によってコンピューターが冷却されます。電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください（電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます）。

1. コンピューター表面の通気孔に掃除機をかけます。
2. コンピューターのコネクタ（USBポート、イーサネットコネクタなど）の内部および周囲に付着したごみを取り除きます。

## キーボードおよびマウスのクリーニング

キーボードのキーをクリーニングする場合は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください。

1. キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます。
2. 乾いた清潔な布にイソプロピル（消毒用）アルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします。
3. 柔らかい布などでマウスの本体およびコードを拭きます。

ローラーボール付きのマウスを使用している場合は、中のボールとローラーをクリーニングします。

1. マウスを裏返し、ボールカバーリングを反時計回りに回転してリンクを取り外し、ローラーボールを取り出します。
2. ローラーボールは石けんと温水でゆすぎます。
3. マウスの中にあるローラーは、イソプロピル（消毒用）アルコールで軽く湿らせた綿棒でクリーニングします。
4. ローラーボールとローラーが完全に乾いたら、ボールを元に戻してボールカバーリングを取り付けます。

## タッチスクリーンのクリーニング（一部のモデルのみ）

**△注意：**クリーナーを直接画面に吹きかけないでください。クリーナーは布に吹きかけ、その布でタッチスクリーンの側面および表面を拭きます。

タッチスクリーンの側面または表面を拭くときに研磨剤や布ヤスリを使用しないでください。タッチスクリーンが損傷するおそれがあります。

以下の手順に沿って、タッチスクリーンのクリーニングを行います。

1. コンピューターの電源を切ります。【スタート】→【シャットダウン】の順にタップします。
2. 電源コードを壁面のコンセントから抜きます。
3. 少量のガラス用中性クリーナーを柔らかい布に吹きかけて、タッチスクリーンを清掃します。
4. タッチスクリーンの表面および左右の側面を拭いて、画面のタッチ認識率を下げる可能性がある汚れ、指紋、その他のごみなどを取り除きます。

## 8 [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の使用

[HP PC Hardware Diagnostics] (HP PC ハードウェア診断) は UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) であり、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールはオペレーティングシステムの外で実行されるため、オペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアコンポーネントが原因で発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離できます。

ハードウェアの交換が必要な障害が[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) で検出された場合、24 桁の障害 ID コードが生成されます。この ID コードは HP のサポートでの問題の解決に役立てることができ

 **注記：** モードの変更が可能なコンピューターで診断を開始するには、お使いのコンピューターをノートブックモードにして、コンピューターに取り付けられているキーボードを使用する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるかコンピューターを再起動してすぐに **esc** キーを押します。
2. **f2** キーを押します。

BIOS は、以下の順序で 3 か所から診断ツールを検索します。

- a. 接続されている USB ドライブ

 **注記：** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) ツールを USB ドライブにダウンロードするには、[24 ページの\[HP PC Hardware Diagnostics\] \(UEFI\) の USB デバイスへのダウンロード](#)を参照してください。

- b. ハードディスク ドライブ
- c. BIOS

3. 診断ツールが開いたら、実行する診断テストの種類を選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。

 **注記：** 診断テストを停止する必要がある場合は、**esc** キーを押します。

## [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) の USB デバイスへのダウンロード

 **注記：** [HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。また、.exe ファイルのみが提供されているため、Windows コンピューターを使用して、[HP UEFI Support Environment] (HP UEFI サポート環境) をダウンロードおよび構築する必要があります。

[HP PC Hardware Diagnostics] (UEFI) を USB デバイスにダウンロードするには、以下の 2 つの方法があります。

## UEFI の最新バージョンをダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www8.hp.com/jp/ja/campaigns/hpsupportassistant/pc-diags.html> にアクセスします。[HP PC Hardware Diagnostics]のホーム ページが表示されます。
2. [HP PC Hardware Diagnostics 3-in-1 USB メモリ]セクションの[ダウンロード (3-in-1 USB メモリ v.x.x.x)] (「x.x.x」はバージョン番号) リンクを選択し、[保存]を選択して USB デバイスに保存します。

## 特定の製品向けの任意のバージョンの UEFI をダウンロードする

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]または[ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 製品の名前または番号を入力します。  
または  
[検出を開始]を選択して、お使いの製品が自動検出されるようにします。
4. お使いのコンピューターを選択し、オペレーティング システムを選択します。
5. [診断]セクションで、画面の説明に沿って必要な UEFI バージョンを選択してダウンロードします。

# 9 仕様

## 動作仕様

 **注記：**お使いのコンピューターの正確な電気定格を確認するには、コンピューターの外側に貼付されている定格ラベルを参照してください。

項目	国際単位系
動作保証温度（動作時）	5 ~ 35°C
保管場所の温度	-20 ~ 60°C
動作保証湿度（動作時）	15 ~ 80% (26°C)
動作高度	0 ~ 2,000 m
保管高度	0 ~ 4,572 m

## 10 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システムボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。

静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまった静電気を放電してください。

- 部品などの取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、まず正しくアース（接地）されていることを確認してください。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。

---

## 11 ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

### サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせるようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

### HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サポート ガイド (保証規定)』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

---

# 索引

## F

Fn キー 6

## H

HP PC Hardware Diagnostics (UEFI)  
使用 24

## い

インターネット、接続 4

## こ

コンピューター  
電源切断 5

## し

システムの応答停止 5  
シャットダウン 5

## せ

静電気対策 27

## そ

操作キー 6

## と

動作仕様 26

## へ

ヘルプとサポート 1

## ほ

ホットキー 6

## ゆ

ユーザー サポート 28